

特集レポート

太陽光発電と蓄電池

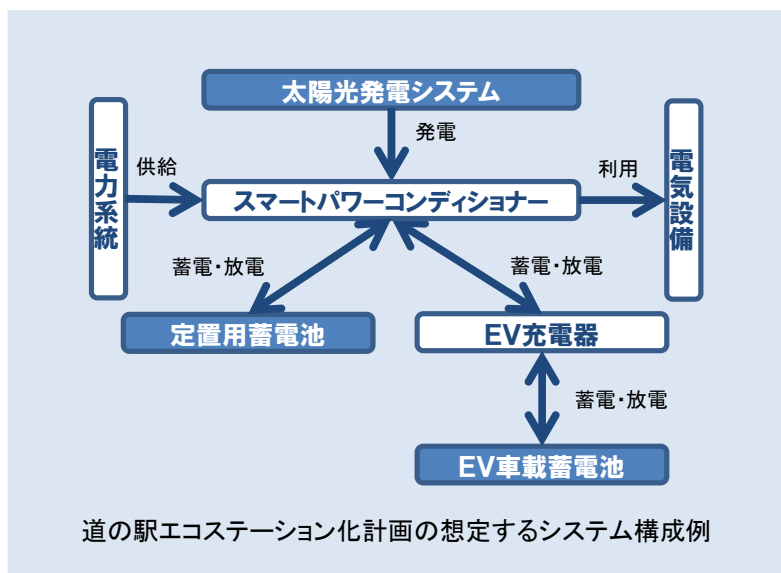
「道の駅エコステーション化計画」では、平時は環境に良く、非常時にも電力を確保できる自立したエネルギーシステムを提案しています。その中心となる「太陽光発電と蓄電池」についての基本情報をわかりやすくレポートします。

下の図のように太陽光発電システムと蓄電池を組み合わせることにより、平時は自然エネルギーを使いながら足りない分は電力会社からの電力(系統電力)を利用して道の駅を運営し、電気自動車への充電を行います。

緊急時に電力系統が停電した場合には、定置用蓄電池に蓄えた電力を利用できます。電気自動車から施設に給電することは今はできませんが、将来

は可能になりそうです。昨年10月のITとエレクトロニクスの総合展示会CEATEC JAPAN2011でも多くの電機メーカーがこうした太陽光発電と蓄電池を組み合わせたシステムの提案を行っており、今年から商品化していくとのことでした。住宅向けで先行し大型の業務用に拡大される見通しです。

次頁以降では太陽光発電と蓄電池それぞれについて詳しく見ていきます。



シャープの提案するEVスマートパワーコンディショナー
(CEATEC JAPAN2011参考展示)